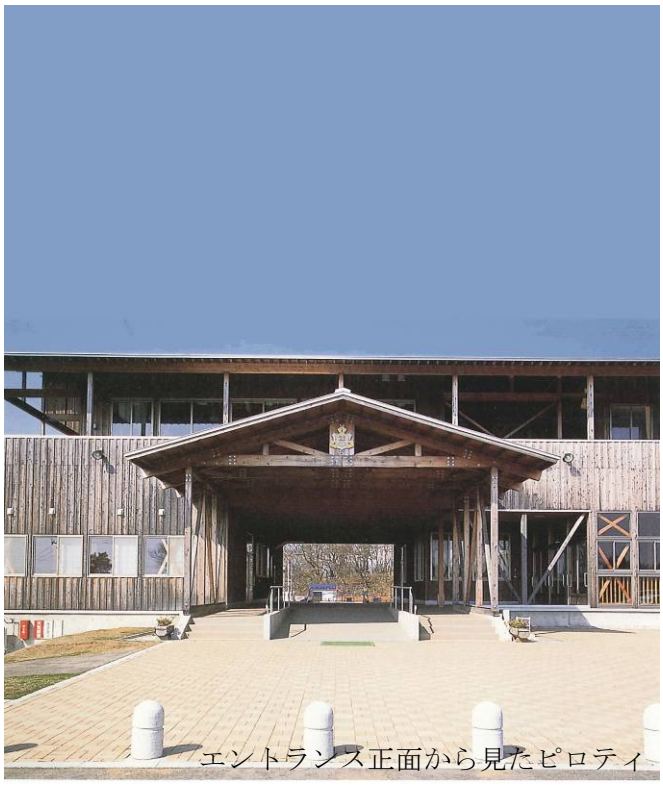
資料９（参考資料１）

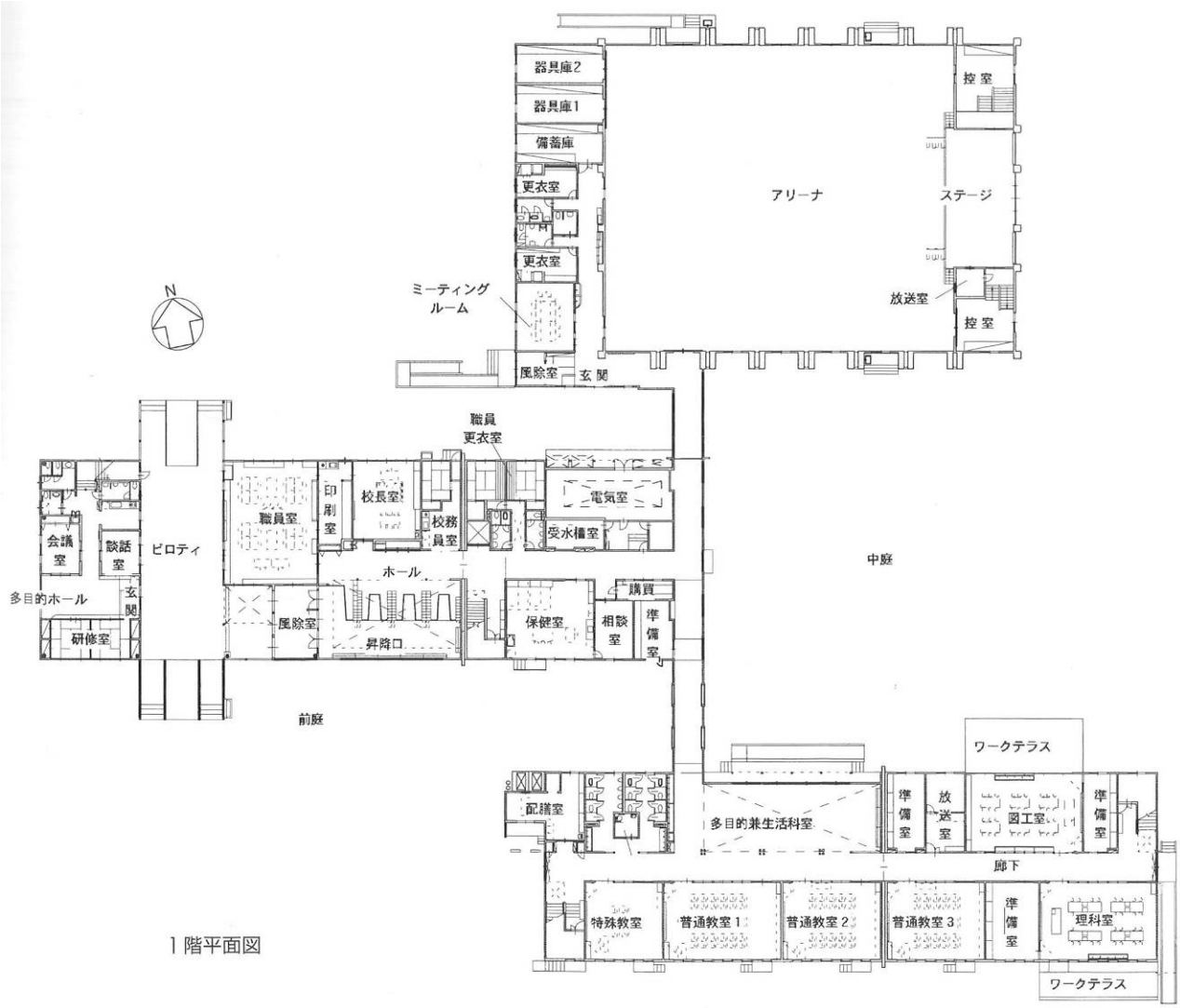
能代市立浅内小学校
木造２階建て
防火壁で区画

所在地：秋田県能代市浅内字上の山
設計者：設計チーム木(協)
竣　工：2006 年３月

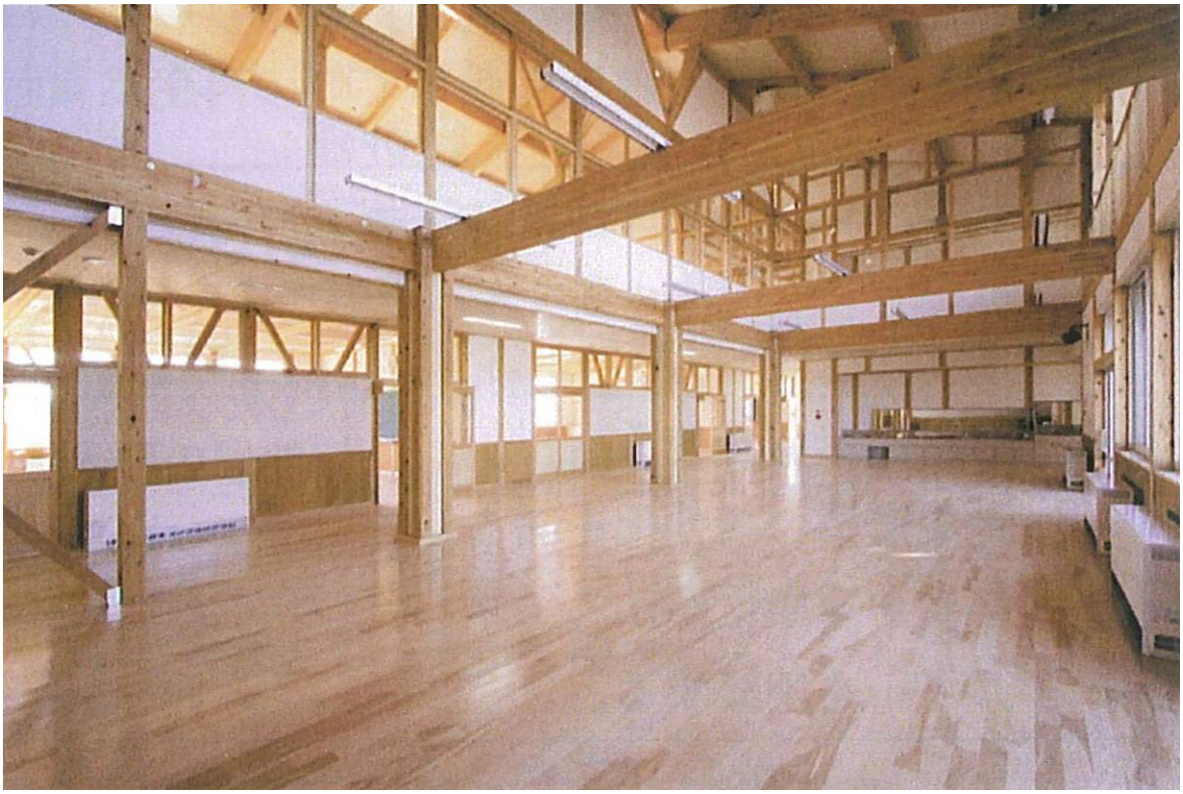
面積関係諸元
敷地面積：３３，９３９㎡
延床面積：５，１１３㎡
建築面積：３，８２５㎡
容 積 率：１５．１％
建 蔽 率：１１．３％


エントランス正面から見たピロティ

管理棟南側全景　右側に教室棟の妻面が見える



1階平面図



1階多目的生活科室　食事や中規模集会に使う

図書室コンピューター室　天井：秋田杉樹皮ボード吸音断熱

昇降口

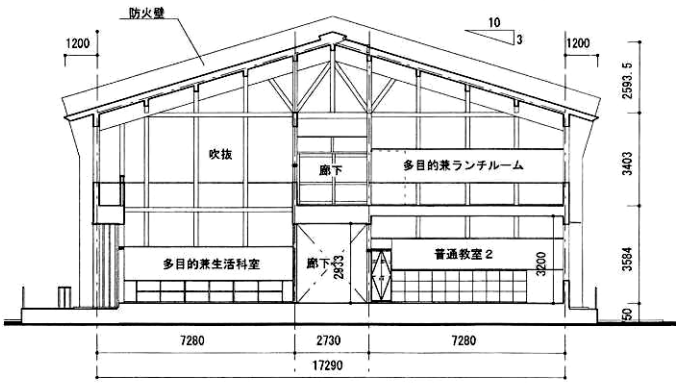
体育館

２階多目的生活科室　食事や中規模集会に使う

１階教室

２階教室　天井：秋田杉樹皮ボード吸音断熱

図書室



昇降口断面図

設計コンセプト

1)能代市の木造への取り組み

・能代市では、子どもや教職員が使いやすいこと、ローコストであること、市民に受け入れられること、建築業が地域地場産業となることを目ざし、一般的な木造工法による学校の建設を行っており、その５校目の学校。

2)高耐久、高性能な木造建築

・秋田杉を中心とした素材と加工技術を活かし、先端的科学的技術を取り入れた高耐久、高性能な木造建築。

3)地域材と地域技術

・地域材と地域技術による在来工法を採用することで、ＲＣ造のコスト以下のローコストで良質な建築を実現している。

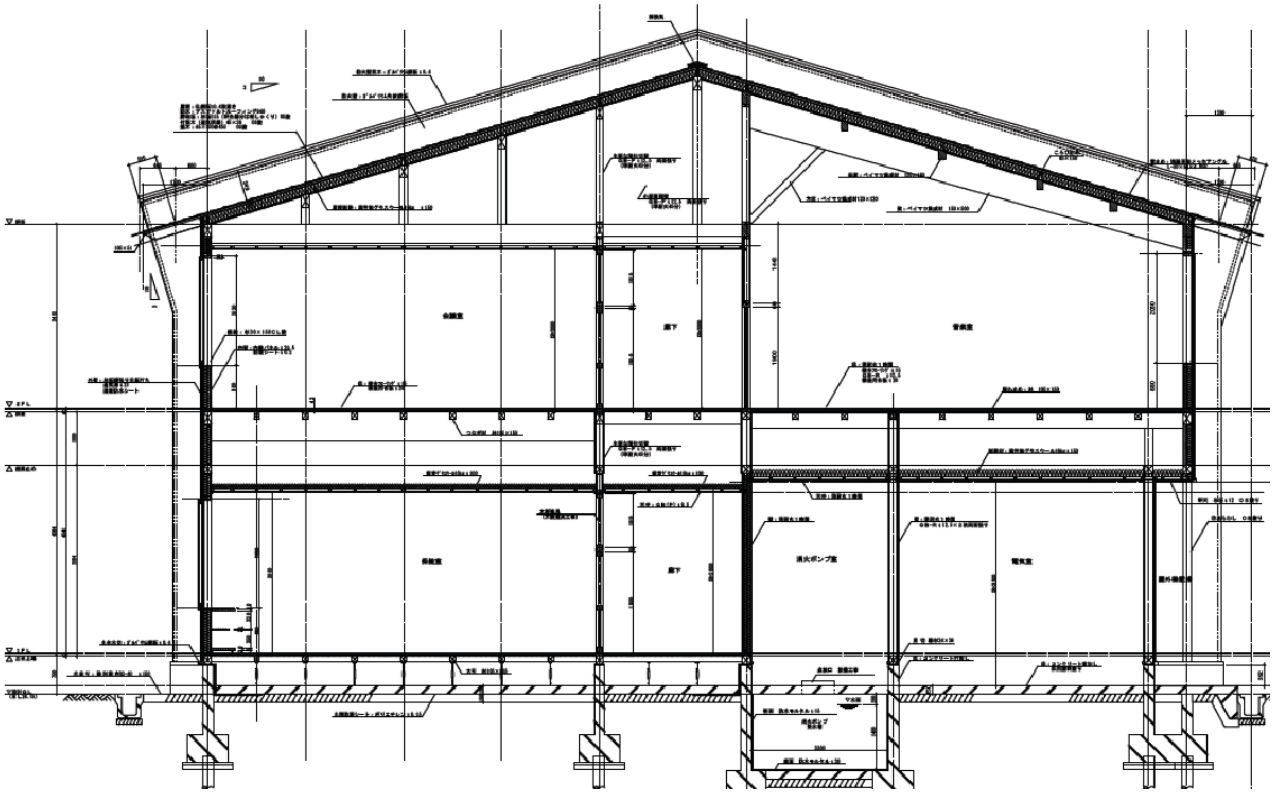
・柱は秋田杉５寸の割角(大径木芯去り材)と芯持ち材を使用し、能代木産連の木材供給ネットワークを構築して利用。

・使用した市内産材は、秋田杉無垢材・集成材の構造材、秋田杉内装材・造作材、秋田杉樹皮断熱材(ボード状・粒状)による断熱気密仕様、安価版木製サッシュ・内部木製戸等建具、木製家具など。

防火の考え方

・防火壁により、校舎棟２棟はそれぞれ 1000 ㎡以下に区画している。

・校舎棟２棟と体育館は、渡り廊下で接続。



校舎部矩計図